

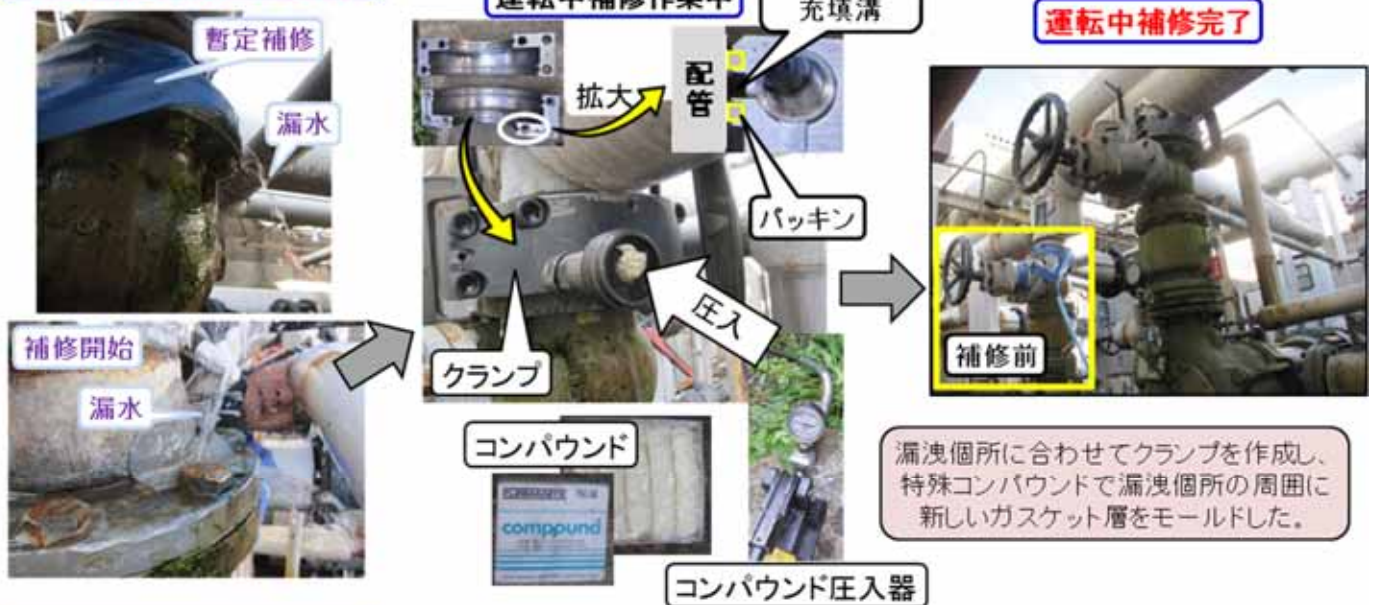
Techno Report

配管系統の【運転中漏洩補修】事例紹介

保全技術等の進歩により、配管系統からの漏洩発生確率は極めて低いものとなっていますが、経年劣化や運転状態の変化、圧力や温度変化の繰り返しなどにより、漏洩が発生することがあります。運転を停止して修理できれば良いのですが、運転を止められない場合には、配管破断や安全上の重大災害にならないように暫定措置をしながら、次の停止時までなんとか運転を継続させることになります。

今回は、弊社で扱いました**水配管と蒸気配管の運転中漏洩補修**の事例を紹介します。この技術は、最高540℃、各種気体(蒸気、圧縮空気、炭酸ガス他)、各種液体(水、軽油、苛性ソーダ他)に対処可能です。配管漏洩で困った際には、**弊社担当者に気軽に声をかけて下さい**。

給水配管漏洩補修事例



補修開始
漏水

運転中補修作業中

クランプ

コンパウンド

コンパウンド圧入器

コンパウンド充填溝

配管

拡大

バックリン

圧入

運転中補修完了

補修前

漏洩個所に合わせてクランプを作成し、特殊コンパウンドで漏洩個所の周囲に新しいガスケット層をモールドした。

蒸気弁漏洩補修事例



運転中補修作業中

蒸気漏れ
グラント部より

圧入口
穴開け加工

運転中補修完了

弁の開閉操作可能

蒸気弁漏洩補修方法

注入ガン

コンパウンド